

学年・教科・担当者	2年・美術・高野由崇
-----------	------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	6	*オリエンテーション *心をともし明かり 和紙ランプシェード	○一年間の学習内容を理解する。 ○独自の発想を生かして、適切な材料を選び、さまざまな技法で制作し、光が人の心に与える効果を理解する。 ○実際に点灯してその効果を楽しむ。 ○日本の美術について主要な流れを、概観し、知識を深める。
	7	*鑑賞 日本美術 *名画鑑賞 「エッシャー、アルチンボルト他」 *不思議な絵 水彩画	○目の錯覚などを利用した作品の鑑賞を通して、ユーモアや意外性のある表現に関心を持たせる。 ○鑑賞を通して、ユーモアや意外性のある表現に関心を持たせ、形や色彩を効果的に使った仕掛けを発想する。
2	8		○多様な美術表現に対する興味関心を高める。
	9	*木彫 小箱 和文様を基に	○完成作品の鑑賞を通して人との交流を楽しむ。 ○生活を美しく豊かにする木の魅力に気付く。
	10		○彫刻の基礎知識を身につける。
	11		○和文様の知識を深め、発展させたデザインを構想する。 ○作品の鑑賞会を通し、表現の違いを認識する。
3	12	*絵巻物に挑戦 鳥獣人物戯画	○日本の美術をより深く楽しむ。 ○絵巻物の基礎を身に付ける。
	1	*豆本の制作	○現代の漫画表現との共通点を発見したり楽しみながら制作を通して発想力を高める。
	2		○小さな本の制作を通していろいろなデザインや表現方法を楽しむ。
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
①美術への関心・意欲・態度 (主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。)	授業観察、課題の提出状況、テストへの取り組み状況、作品への取り組み状況など
②発想や構想の能力 (感性や想像力を働かせて、独創的で豊かな発想をし、創造的に表わしている。)	アイデアスケッチ、下書き、作品など
③創造的な技能 (表現の技能を身に付け、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作順序など総合的に考え、創造している。)	作品、ワークシートなど
④鑑賞の能力 (美術作品や文化遺産に親しみ、美しさや良さを感じ取り生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化についての理解を深めている。)	テスト、鑑賞プリント、美術展の鑑賞レポートなど